

COVID-19 診療の手引きの 6.0 版を周知

厚生労働省は11月2日付で、「『新型コロナウイルス感染症（COVID-19）診療の手引き・第6.0版』の周知について」を、都道府県等に宛てて事務連絡した。

8月31日発行の5.3版を、新たな知見等を踏まえ更新したもの。

第6.0版の改訂のポイントは以下の通り。

【病原体・疫学】

- ▼変異株について更新
- ▼監視下の変異株（VUM）について追加
- ▼感染経路・エアロゾル感染について更新
- ▼国内・海外発生状況を更新

【臨床像】

- ▼臨床像を更新
- ▼重症化リスク因子を更新（日本 COVIREGI-JP の解析を追加／重症化マーカーについて、最近のメタ解析結果を追加）
- ▼合併症の二次性細菌・真菌感染症について、日本呼吸器学会の調査を追加（人工呼吸器下の侵襲性アスペルギルス症例は0.54%と低率）
- ▼国内小児例の臨床的特徴を追加
- ▼小児の重症度について、日本小児科学会のレジストリ調査を追加
- ▼小児多系統炎症性症候群（MIS-C）について、国内の報告を追加
- ▼妊婦例の特徴について、日本産婦人科学会の調査を追加
- ▼症状の遷延（いわゆる後遺症）について、国内の調査を追加（457人の回復者のうち、12カ月後には91.2%で症状を認めなかった）

【症例定義・診断・届け出】

- ▼血清診断について国立医薬品食品衛生研究所の報告を追加
- ▼世界のインフルエンザ流行状況を追加
- ▼届け出について更新
- ▼医療機関等情報支援システム（G-MIS）について更新

【重症度分類とマネジメント】

- ▼中等症Ⅱについて更新（CPAP 使用時の感染対策についての注意喚起を追加）
- ▼重症について更新（国内における体外式膜型人工肺〔ECMO〕データを更新

【薬物療法】

- ▼バリシチニブの研究結果を追加（入院患者において、治療開始 28 日以内の死亡率が低かった〔8.1%vs13.1%〕）
- ▼ソトロビマブについて追加
- ▼妊婦に対する薬物療法を追加
- ▼国内で開発中の薬剤を整理（開発中止となったため、オチリマブを削除）
- ▼国内外で開発が中止された薬剤を整理

【院内感染対策】

- ▼マスクの JIS 規格を追加
- ▼職員の健康管理についてワクチンの効果を追加
- ▼非常事態における個人防護具の例外的取扱を削除

医療情報②
厚生労働省
事務連絡

ワクチン接種の「間違い防止」で 事務連絡

厚生労働省は 10 月 29 日付で、「新型コロナ予防接種の間違いの防止について（その 3）」を、都道府県と市区町村に宛てて事務連絡した。

事務連絡では、9 月 30 日までに報告された予防接種の間違いの概要をまとめている。

また併せて、「重大な健康被害につながるおそれのある間違い」として報告されたもののうち、他のワクチンを受けにきた者に対して誤って新型コロナワクチンを接種したものについて、実際に予防接種に携わった方に対して間違いが起こった要因や再発防止策等をヒアリングし、具体的な留意点をまとめている。

概要では、間違いの態様について、「接種間隔の間違い」が最も多く 526 件で 10 万回あたり 0.321 件。「接種器具の扱いが不適切」が 350 件（10 万回あたり 0.214 件）、「不必要な接種」246 件（同 0.15 件）、「血液感染を起こし得る間違い」170 件（同 0.104 件）、「接種ワクチンの種類の違い」74 件（0.045 件）などと続く。

他のワクチンを受けに来た者に新型コロナウイルスワクチンを接種したケースでは、間違いの背景として、以下などと指摘。

- ▼同じ時間帯に新型コロナワクチンと他のワクチンの予約を受け付けており、物理的に患者が混在していた
- ▼接種者の手が届く範囲に、複数の異なる種類のワクチンが置かれていた

- ▼新型コロナワクチンの接種数が多く、新型コロナワクチンの接種に慣れてしまっていた（無意識、惰性で打ってしまった）
- ▼接種者は、接種直前に接種するワクチン名を確認していなかった

対策として、以下の3項目を挙げた。

- ①可能な限り、新型コロナワクチンと他のワクチンを接種する曜日や時間帯を分ける
- ②1トレイに1種類（可能な限り、1トレイに1人分）のワクチンを準備することとし、診察室内において、接種者の手が届く範囲に異なる種類のワクチンを置かない
- ③接種直前は一呼吸おき、接種者と被接種者とで接種するワクチン名を声に出して確認する

医療情報③
厚生労働省
事務連絡

ワクチン追加接種で スケジュールなど事務連絡

厚生労働省は10月29日付で、「厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会の議論と追加接種に関する今後の見通しについて」を、都道府県と市区町村に宛てて事務連絡した。

事務連絡では、厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会で追加接種について審議しているとし、審議の状況を整理している。併せて、現時点で想定される今後の追加接種に関するスケジュールを示した。

審議の状況では、「追加接種は必要」で、2回目の接種を完了してからおおむね8カ月以上後から行うとした。追加接種の対象者は、「2回接種完了者すべて」としたうえで、「特に接種することが望ましい者について検討を進め、国民へ広報等を行う」とした。使用するワクチンは、1回目・2回目に用いたワクチンの種類にかかわらず、mRNAワクチン（ファイザー社ワクチンまたは武田／モデルナ社ワクチン）を用いることが考えられるとした。いずれについても、引き続き科学的知見を収集し、検討するとしている。

スケジュールは、11月中旬にファイザー社ワクチンの追加接種について、対象者等を定める省令改正等を厚生科学審議会に諮問。併せて自治体説明会を開く。同月中下旬には、市町村から接種券（一体型予診票）を順次送付開始。自治体に対し、12月、1月接種分として、ファイザー社ワクチン約412万回を配分する。

12月1日には追加接種の関係省令を施行。以降、市町村で順次ファイザー社ワクチンによる追加接種を開始する。武田／モデルナ社ワクチンについては、12月下旬以降、追加接種について厚生科学審議会に諮問。1月には自治体等に対する配分を開始。2月には武田／モデルナ社ワクチンによる追加接種がスタートする。

東京9区、安藤高夫氏は 比例復活ならず

10月31日に投開票された衆議院議員選挙の結果が11月1日、確定した。

医療関係の候補者では、東京都医師会が支援に動いた東京9区の前職、安藤高夫氏（自民）は落選し、比例代表での復活もならなかった。一方、千葉13区の新人で救急救命医の松本尚氏（自民）は、小選挙区で初当選を果たした。主な医療関係者の選挙結果は以下の通り。

【自民党当選】

- ▼ [茨城6区] 国光文乃（元厚生労働省課長補佐、医師）前
- ▼ [埼玉14区] 三ツ林裕巳（医師）前
- ▼ [千葉13区] 松本尚（日本医科大千葉北総病院救急救命医）新
- ▼ [東京23区] 小倉将信（医療法人役員）前
- ▼ [愛知14区] 今枝宗一郎（医師）前
- ▼ [広島4区] 新谷正義（医療法人役員、医師）前
- ▼ [比例北海道] 渡辺孝一（歯科医師）前
- ▼ [比例東海] 山本左近（医療法人・社会福祉法人理事）新
- ▼ [比例中国] 高階恵美子（看護師、元参院議員）新
- ▼ [比例中国] 畦元将吾（診療放射線技師）前
- ▼ [岡山3区・比例復活] 阿部俊子（元日看協副会長、看護師）前

【自民党落選】

- ▼ [東京9区] 安藤高夫（全日病副会長、医師）前
- ▼ [京都3区] 木村弥生（看護師）前
- ▼ [京都6区] 清水鴻一郎（全日病理事、医師）元
- ▼ [大阪7区] 渡嘉敷奈緒美（薬剤師）前
- ▼ [大阪10区] 大隈和英（医師）前
- ▼ [比例東京] 小松裕（医師）前
- ▼ [比例中国] 小林孝一郎（元岡山県議、医師）新
- ▼ [比例九州] 河野正美（医療法人理事長、医師）元

【立憲民主党当選】

- ▼ [北海道8区] 逢坂誠二（薬剤師）前
- ▼ [神奈川12区] 阿部知子（医師）前

- ▼ [山梨 1 区・比例復活] 中島克仁（医師）前
- ▼ [愛知 1 区・比例復活] 吉田統彦（医師）前

【立憲民主党落選】

- ▼ [群馬 3 区] 長谷川嘉一（医療法人役員、歯科医師）前
- ▼ [愛知 9 区] 岡本充功（医師）前

【国民民主党落選】

- ▼ [比例北海道] 山崎摩耶（元日看協常任理事、看護師）前

【無所属当選】

- ▼ [新潟 5 区] 米山隆一（元新潟県知事、医療法人理事長、医師）新
- ▼ [徳島 1 区] 仁木博文（医師）元

【無所属落選】

- ▼ [神奈川 1 区] 松本純（薬剤師）前
- ▼ [東京 15 区] 今村洋史（医療法人理事長、医師）元

医療情報⑤
政府
発表

秋の叙勲、厚労省関係は 合わせて 465 人受章

政府は 11 月 3 日、2021 年秋の叙勲受章者を発表した。

厚生労働省関係では、旭日小綬章が 16 人、旭日双光章 101 人、旭日単光章が 12 人、瑞宝中綬章が 18 人、瑞宝小綬章が 22 人、瑞宝双光章が 125 人、瑞宝単光章 171 人の、合わせて 465 人が受章した。

医療関係の旭日小綬章の受賞者は以下の通り（敬称略）。

- | | |
|---------------------|----------------------|
| ▼ 安東哲也（大分県薬剤師会会長） | ▼ 大中正光（元福井県医師会会長） |
| ▼ 春日司郎（元長野県歯科医師会会長） | ▼ 関隆教（元長野県医師会会長） |
| ▼ 中西孝紀（和歌山県歯科医師会会長） | ▼ 平田素子（元日本作業療法士協会会長） |
| ▼ 平松恵一（元広島県医師会会長） | ▼ 藤原元幸（秋田県歯科医師会会長） |
| ▼ 三塚憲二（元山梨県歯科医師会会長） | ▼ 諸岡信裕（元茨城県医師会会長） |
| ▼ 渡邊公人（元島根県歯科医師会会長） | |

自殺対策白書「女性の自殺が増加」 ～11月2日、2020年度版を閣議決定

厚生労働省は11月2日、2020年度版の「我が国における自殺の概況および自殺対策の実施状況」（自殺対策白書）を閣議決定し、公表した。白書は、以下の3章で構成される。

- ▼第1章「自殺の現状」
- ▼第2章「自殺対策の基本的な枠組みと新型コロナウイルス感染症の感染拡大下の自殺対策の取り組みと分析」
- ▼第3章「20年度の自殺対策の実施状況」

白書によると、20年の自殺者数は2万1081人で、前年より912人（約4.5%）増加した。これは11年ぶりのことだという。

男女別では、男性が1万4055人、女性が7026人。男性は11年連続で減少したものの、女性は2年ぶりに増加に転じ、前年より935人増えた。

女性の自殺についてはさらに、過去5年間の平均と比較・分析している。

職業別では、「被雇用者・勤め人」が381人、「学生・生徒」が140人と、それぞれ大幅に増加している。

原因・動機別では、「勤務問題」が34.8%と大きく増加しているほか、「男女問題」が25%あまり増加していた。

勤務問題の内訳を見ると、「職場環境の変化」が98.3%と大幅に増加しており、新型コロナウイルス感染症の拡大との関連が示唆されている。

個人防護具の取り扱いで事務連絡 ～N95マスク等個人防護具の取り扱いについて

厚生労働省は11月2日付で、「N95マスク等の個人防護具の取り扱いについて」を、都道府県等に宛てて事務連絡した。

事務連絡では、最近のN95マスク等の個人防護具の需給状況や、感染対策医療用マスクについてJIS規格が策定されたことを踏まえ、「N95マスクの例外的取扱いについて」（2020年4月10日付事務連絡、8月4日最終改正）と「サージカルマスク、長袖ガウン、ゴーグルおよびフェイスシールドの例外的取扱いについて」（20年4月14日付事務連絡）を、11月2日で廃止するとしている。

医療情報⑧
厚生労働省
開催

訪日外国人受診者 医療費未払情報で説明会

厚生労働省は、「訪日外国人受診者医療費未払情報の報告に関する説明会」を、11月19日に委託事業としてオンライン形式で開催する。

今年5月10日から、一定額以上の医療費の不払いのある訪日外国人受診者の情報を保険医療機関から収集する仕組みの運用が始まっている。

収集された情報は出入国在留管理庁に共有され、入国審査に活用されることになる。

この仕組みについて、医療機関の参加を促す説明会を、厚労省の委託により有限責任監査法人トーマツが開催する。

開催は11月19日金曜日の16時から16時30分まで。

内容は、以下の通り。

- ▼ 仕組みの趣旨について
- ▼ 訪日外国人受診者医療費未払情報報告システムの使い方について
- ▼ 質疑応答

対象は全国の保険医療機関で、申し込み期限は11月18日正午。

申し込みはE-mailで受け付ける。件名「訪日外国人受診者医療費未払情報報告説明会申込」のメールに、以下を記載し、「unpaid.seminar.mhlw@tohmatu.co.jp」まで送信する。

- ① 所属先・部署・役職
- ② 参加予定者全員の氏名（漢字・ふりがな）
- ③ 連絡先電話番号
- ④ Zoom ウェビナーのリンク送信先メールアドレス
- ⑤ 質問事項

問い合わせは厚生労働省訪日外国人受診者医療費未払情報事務局

(Email: unpaid.seminar.mhlw@tohmatu.co.jp、電話 090-9838-4679/070-1736-4323) まで。

医療情報⑨
政府
公表

コロナワクチン接種、2回目まで 終了は約9177万人に

政府が公表した新型コロナウイルスワクチンの接種実績によると、11月1日の一般接種は、1回目が3万331回、2回目が15万9336回の、合わせて18万9667回だった。

11月2日までの総接種回数は1億9002万2071回で、このうち高齢者は6520万3082回、職域接種が1907万8083回だった。

全体では1回以上接種者が9825万592人で接種率は77.6%。このうち高齢者は3275万5961人で接種率は91.6%。

2回接種完了者は、全体では9177万1479人で接種率72.5%、うち高齢者は3244万7121人で、接種率は90.7%。

医療情報⑩
11月3日
現在

国内の重症患者数減少続く、 115人に

厚生労働省のまとめによると、日本国内の新型コロナウイルスへの感染状況は、11月3日零時時点で、前日より221人増えて、合わせて172万3162人となった。

このうち、チャーター便による帰国者が15人、空港等検疫が4443人、国内事例が171万8704人。国内の死者は、前日から7人増え、1万8282人となった。

すでに退院等している人は、前日より368人増えて170万1096人となった。

入院治療を要する2479人のうち、人工呼吸器装着または集中治療室に入室している重症者は、前日から5人減って115人だった。

11月1日までの国内（国立感染症研究所、検疫所、地方衛生研究所・保健所等）のPCR検査の実施件数は3466万7131件だった。

11月3日零時時点での都道府県別の陽性者数は、東京都が38万1682人（死亡3149人）で最も多く、次いで大阪府の20万2509人（死亡3047人）、神奈川県16万8914人（死亡1308人）、埼玉県11万5619人（死亡1046人）、愛知県10万6361人（死亡1156人）などとなっている。

●コロンビア・スペインで陽性者数500万人を超える

厚労省のまとめ(図表)によると、11月3日15時時点の世界の新型コロナウイルスへの感染状況について、米国では感染者が4609万人あまりに達し、死者数は約74万7000人となった。

インドでは、感染者が約3429万人で、死亡者は約45万8000人。ブラジルでは感染者数が約2181万人で、死者は約60万8000人。

このほか感染者が100万人を超えているのは、英国、ロシア、トルコ、フランス、イラン、日本などの、合わせて37の国と地域、10万人を超えているのは、合わせて112の国と地域。感染者が1万人を超えているのは165の国と地域。

ヨーロッパでは、英国で感染者が約914万人に達したほか、ロシアでも約842万人、フランスで約727万人となっている。

スペインでは約501万人、イタリアで約477万人、ドイツで約462万人となった。

中南米では、ブラジルのほか、アルゼンチンで約 529 万人、コロンビアで約 500 万人、メキシコで約 381 万人、ペルーで約 220 万人の陽性が確認されている。

アジアでは、インドのほかインドネシアで感染者が約 424 万人となったほか、フィリピンで約 279 万人、マレーシアで約 248 万人、タイで約 192 万人、バングラデシュで約 157 万人となった。

中東地域では、イランで感染者が約 593 万人、イラクでも約 206 万人となっている。アフリカ諸国では、南アフリカで感染者が約 292 万人、モロッコで約 95 万人となっている。

(図表)国別の感染者・死亡者の状況

国・地域	感染者	死亡者	国・地域	感染者	死亡者
米国	46,091,924	747,033	カナダ	1,725,362	29,052
インド	34,285,814	458,437	チリ	1,696,786	37,777
ブラジル	21,814,693	607,922	ルーマニア	1,655,024	48,073
英国	9,140,441	141,098	バングラデシュ	1,569,753	27,870
ロシア	8,417,305	235,318	ベルギー	1,360,650	25,994
トルコ	8,061,636	70,828	イスラエル	1,328,218	8,103
フランス	7,270,410	118,632	パキスタン	1,274,017	28,466
イラン	5,934,495	126,456	スウェーデン	1,171,512	15,025
アルゼンチン	5,289,945	115,989	セルビア	1,148,645	10,018
スペイン	5,011,148	87,368	ポルトガル	1,091,142	18,162
コロンビア	5,003,977	127,311	カザフスタン	1,021,452	17,150
イタリア	4,774,783	132,120	キューバ	952,634	8,240
ドイツ	4,619,273	95,838	モロッコ	946,283	14,678
インドネシア	4,244,761	143,423	ベトナム	926,720	22,131
メキシコ	3,807,211	288,365	スイス	877,098	11,242
ウクライナ	3,073,125	72,402	ハンガリー	874,630	30,881
ポーランド	3,030,151	77,012	ヨルダン	864,661	11,052
南アフリカ	2,922,222	89,179	オーストリア	835,504	11,369
フィリピン	2,790,375	43,276	ネパール	813,011	11,416
マレーシア	2,476,268	28,975	ギリシア	747,595	15,990
ペルー	2,202,189	200,276	アラブ首長国連邦	739,983	2,136
オランダ	2,179,710	18,862	ジョージア	721,388	10,089
イラク	2,056,401	23,196	チュニジア	712,776	25,244
タイ	1,920,189	19,260	レバノン	642,225	8,509
チェコ	1,765,654	30,775	ブルガリア	608,499	24,309